

八木節（群馬県）

八木節が唄われる以前旧例幣使街道の宿場に、古い盆踊り唄が唄われていた。群馬県玉村宿の「横樽音頭」、木崎宿の「木崎節」、境町(現在は合併し伊勢崎市)の「赤わん節」等がそれであって明治の中ごろからそれらの後をついで「八木節」が唄われるようになったものである。

「八木節」の元祖は栃木県山辺村(現在の足利市)、朝倉の清三という人で、明治 20 年ごろ運送業を営み馬をひいては八木宿に通ずる例幣使街道を往来した。その道々彼は盆踊り節を唄ったが余りの美声に街道の人々の間で評判となり、地方の青年が教えを請いに来るほどになった。こうして「八木節」は例幣使街道を中心に盛んに歌われるようになったが、大正年間、清三の弟子、中村芳郎門下の堀込の渡辺源太郎(堀込源太)と矢場の荒井勝一郎(矢場勝)の二人がいろいろに工夫して歌い、踊りは主に矢場勝が受持った。大正の初めに、民謡のレコード化に伴い、まず最初にとりあげられたのが八木節であった。レコード化したときに、この盆踊りの名前を「源太節」でなく「八木節」としたので、この時以来「八木節」と呼ばれるようになったと伝えられている。

なお、大正 5 年に八木節が東京の興行師に認められて、浅草の舞台で芝居の前座や幕間に踊られたことなどが、レコード化とあいまって、八木節を全国的に広めたのである。そして祭りには高い櫓を立てて村々で唄い踊ったから、大正の末ごろには群馬・栃木両県にわたって急速に広まった。「八木節」を唄い踊る服装は、主に紺のはっぴ姿、紺のももひきをはき、元祖、清三が馬子姿で唄った昔をしのばせるものがある。

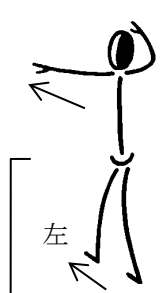







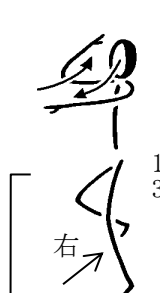

はやしには笛、鉦、鼓、豎樽等を用い、踊りはその種類が多く、手踊り、手ぬぐい踊り、菅笠、日傘、花笠、扇子等を使って踊られ、各研究会、保存会、普及会等によってその踊り方が異なり多種多様である。

「八木節」は盆踊り唄ではあるが、櫓の周囲をだれでもまわりながら踊る普通の盆踊り唄と異なり、櫓の上で唄も音頭も踊りもやるというのが特徴である。このために現在では一般民衆とはなれて、一部研究会、保存普及会、後援会等の団体によって行われるようになってしまっている。興行的になり、技巧的になり、派手なものになって、ますます一般大衆の手から遠のき離れようとしている。群馬県といえば「八木節」と思われているのに、このようではいけないというわけで、昭和 33 年夏、太田市八木節保存普及会で、簡単な手踊りを振付けて、講習したのを、群馬県フォークダンス協会できり上げ、昔盆踊りの時に踊られたように、全県民のものにもう一度とりもどそうと、これを指導し始めたわけである。さらに昭和 36 年、全国に普及するため日本フォークダンス連盟がこれを取り上げた。

八木節

- ◆ 隊 形：輪おどり。
- ◆ 進行方向：反時計まわり。
- ◆ 踊り始め：進行方向をむき、前奏4呼間聞いて踊り始める。
- ◆ 踊り方
 - ① 一つの二つ
手を軽く振りながら、右足から2歩進み3歩目の右足を左足に揃えながら腰をおとし、膝前で“チョン”と手拍子を行う。図(1)(2)
 - ② 三つの四つ
右足先を左斜め前につきながら、右手さしかざす。次に両手そのまま、右足先を右斜め前に移動してつく(このとき両足をわずかに屈伸して行う)。図(3)(4)
 - ③ 五つの六つ
左足先を右足前方につき②の反対動作。最後は左足進行方向に踏み直す。図(5)~(7)
 - ④ 七つの八つ
右足先を右斜め前に蹴り出すようにつきながら、右手さしかざし、次にもう1度同様動作を行う。図(8)(9)
 - ⑤ 九つ・十
右足を1歩後退しながら両手掌を顔に向け、次に左足を右足に踏み揃えながら少し腰をおとし、両手を左横に握り放しで流し(左手肩の高さ、右手やや低く)その方向を見る。
図(10)(11)

以上をくり返す。

<p>◆輪おどし ◆反時計まわり ◆進行方向をむき、 前奏4呼間聞いて 踊り始める。</p>	<p>(5) ① ② 左</p> 	<p>(10) ① 右</p> 	
<p>(1) ① 右3 ←+++</p> 	<p>(6) ③ 左</p> 	<p>(11) ④ 円心 フ フ 左トン 両手円心へ握り放し</p> 	
<p>(2) ④ 3歩目、 チョン</p> 	<p>(7) ④ 左</p> 	<p>以上をくり返す</p>	
<p>(3) ① 右手右足を左斜め前に 右</p> 	<p>(8) ① 右足蹴り上げ 1. 3. 右</p> 		
<p>(4) ④ 同じ手足を右斜め前に</p> 	<p>(9) ④ はずんで爪先おろし 2度くり返す 2. 4. 右</p> 